

～薬物乱用防止講話～

12月7日（木）に岐阜県警察本部少年課少年育成支援官の岩本真由さんをお招きし、全校生徒対象の薬物乱用防止講話を行っていただきました。

全校生徒が体育館アリーナにそろって、身の周りに潜む薬物の危険性についてお話を聞きました。薬物乱用は心と身体を壊してしまうものであることや、もし出会ったとしても、しっかりと断ることの大切さを学びました。



【生徒の感想より】

- 薬物は、人が生活していくうえで最も大切な脳を侵してしまうことと、一度でも薬物を使用したらもとの脳には戻らないということからも薬物の恐ろしさを感じました。
- タバコや飲酒、カフェインのある飲み物でさえも薬物乱用につながる恐れがあることに驚きました。
- 違法薬物だけでなく市販されている風邪薬などで薬物依存になり得ることを初めて知りました。しっかりと使用用途や使用量を守っていきたく感じました。
- 「自分には関係ない」「自分は大丈夫」と思わずに、今日の講話で聞いたことを忘れないようにして、困った時にはすぐ頼れる大人に相談しようと思いました。